

PE-View9.7 リリースノート

Myway プラス株式会社
〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-14-15
TEL.045-476-3722 FAX.045-476-3723
<http://www.myway.co.jp/>
E-mail: sales@myway.co.jp

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より格段のご愛顧を賜り深謝申し上げます。

さて、このたび、弊社製品 PE-View9.7 をリリース致しましたので、ご連絡致します。

PE-View9.7 の変更点の概要は下表の通りです。

製品名	旧バージョン	新バージョン	バージョンアップ理由
PE-View9	Ver.9.6	Ver.9.7	機能改良、不具合修正
PEOS/F28335	Ver.1.3	Ver.1.4	PE-PRO/F28335A に対応仕様変更

本バージョンアップは PE-View9 の機能改良と、PEOS/F28335 の機能追加を行っております。

下記 PE-View9.7 および PEOS/F28335 のバージョンアップ内容をご確認の上、バージョンアップを行って下さいませようお願い致します。

敬具

－ 記 －

【PE-View9 Ver.9.6 ⇒ Ver.9.7 へのバージョンアップ内容】

	種類	追加・修正箇所	内容
1	機能改良	PE-View9 本体	PE-View 内部で使用しているツール群のバージョンアップを行いました。 本バージョンアップは将来の Windows 7 対応に向けた改造であり、機能面・性能面での変更はありません。これまで同様にご利用いただけます。 ※ PE-View9 が対応している OS は Windows 2000 / XP / Vista です。Window 7 には近日対応予定です。
2	不具合修正	WAVE 機能	WAVE II のメインウィンドウ最小化時に、ショートカットキー「Space」が正常に動作しない不具合を修正しました。

【PEOS/F28335 Ver.1.3 ⇒ Ver.1.4 へのバージョンアップ内容】

	種類	追加・修正箇所	内容											
1	対応ボード追加	PEOS/F28335 本体	弊社新製品「PE-PRO/F28335A」への対応を行いました。これに伴い、D/A コンバータ機能を利用するための関数を追加しました。 PE-PRO と PEOS の対応は下記表のようになります。											
			<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">PEOS/F28335</th> </tr> <tr> <th>Ver.1.3</th> <th>Ver.1.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PE-PRO/F28335 (D/A コンバータ無し)</td> <td>○</td> <td>○ (da 機能は使用できません)</td> </tr> <tr> <td>PE-PRO/F28335A (D/A コンバータあり)</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		PEOS/F28335		Ver.1.3	Ver.1.4	PE-PRO/F28335 (D/A コンバータ無し)	○	○ (da 機能は使用できません)	PE-PRO/F28335A (D/A コンバータあり)	×	○
			PEOS/F28335											
			Ver.1.3	Ver.1.4										
PE-PRO/F28335 (D/A コンバータ無し)	○	○ (da 機能は使用できません)												
PE-PRO/F28335A (D/A コンバータあり)	×	○												
	※ PE-PRO/F28335 用の既存プログラムは PEOS/F28335 Ver.1.4 でもそのまま利用可能です。													
2	機能追加	da 機能 pro_da_init() pro_da_set_range() pro_da_out() pro_da_out_u()	PE-PRO/F28335A に搭載されている D/A コンバータを利用するための関数群「da 機能」を追加しました。 da 機能を利用するためには system_init() 関数で初期化を行う前に、以下の様にマクロ定義を行う必要があります。 <pre>#define DAC_ENABLE</pre> また、PE-PRO/F28335A ボードを適切に設定する必要があります。 詳細は PEOS/F28335 Function reference manual (Doc.No. 01203-A2-P01D) 及び、PE-PRO/F28335A のハードウェアリファレンスマニュアル(Doc.No. 08862-A2-003)を参照して下さい。 ※ 従来製品「PE-PRO/F28335」では da 機能は利用できません。PE-PRO/F28335 をご利用の場合、DAC_ENABLE のマクロ定義を行わないで下さい。											
3	仕様変更	初期化機能 system_init()	<ul style="list-style-type: none"> ・バス機能の初期化設定を追加しました。 ・da 機能使用時と未使用時でピンの初期化が異なるように仕様変更しました。 ※ da 機能を利用する場合、system_init() 関数を実行する前に DAC_ENABLE をマクロ定義する必要があります。da 機能を利用しない場合には DAC_ENABLE のマクロ定義は行わないで下さい。											

【バージョンアップ方法】

○インストール

最新版の PE-View9.7 および、それに含まれる PEOS を以下の手順に従って、インストールしてください。最新版の CD は、弊社より各お客様へ送付いたします。

インストールの詳細については、「PE-View9 インストレーション・インストラクション」(Doc.No. 06642- A2-002H) を参照してください。

1. 起動中の PE-View9 を終了してください。
2. 「Myway License Key」を USB ポートに接続してください。
3. PE-View9.7 の CD-ROM をドライブに挿入してください。
CD-ROM を挿入後、しばらくすると自動的にインストーラが起動してインストール画面が表示されますが、約 30 秒以上待っても画面が表示されない場合には、次の方法でインストーラを起動して下さい。
 - ① Windows メニューの[スタート]→[ファイル名を指定して実行...]を選択します。
 - ② CD-ROM ドライブが D ドライブの場合、[名前]フィールドに「D:¥setup.exe」と入力し、OK ボタンを押して下さい。
4. PE-View9 をインストールして下さい。
旧バージョンの PE-View9 がインストールされている場合、PE-View9.7 を上書きインストールしてください。旧バージョンをアンインストールする必要はありません。
5. PEOS をインストールして下さい。
現在ご利用中の PEOS を、すべてインストールしてください。最新バージョンの PEOS およびダウンロード機能がインストールされます。旧バージョンの PEOS は削除されません。

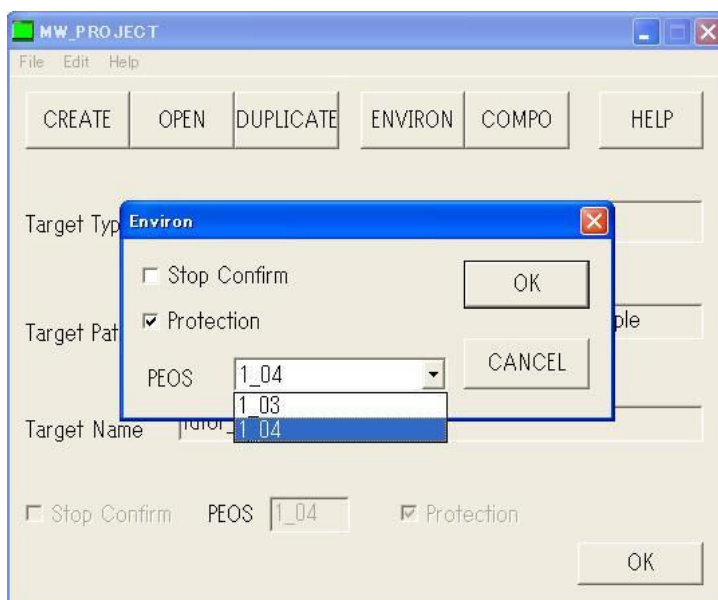
以上で、インストール作業は終了です。

○使用するライブラリバージョンの変更

ライブラリバージョンの変更作業は、PEOS/F28335 をご利用のお客様のみが該当致します。

既存のプロジェクトで新しいライブラリを利用するためには、PE-View9.7 をインストール後に以下の手順でプロジェクトを設定する必要があります。

1. PE-View9 のツールバーから[Project] 画面を開いてください。
2. [Project] 画面の[Open]ボタンを押し、PE-View9 の旧バージョンで作成したプロジェクトを開いてください。
3. [Project] 画面の[Environ]ボタンを押し、[Environ]画面を開いてください。
4. [Environ]画面の[PEOS]ドロップダウンリストから、最新のライブラリバージョンを選択してください。



5. [Environ]画面の[OK]ボタンを押し、[Environ]画面を閉じてください。
6. [Project] 画面の[OK]ボタンを押し、[Project]画面を閉じてください。

以上で、使用するライブラリバージョンの変更は終了です。

上記設定後、通常通りコンパイル、ダウンロードしていただくことで、最新のライブラリを使ったプログラムが書き込まれます。

ご不明な点は弊社の営業担当までお問い合わせさせていただきますようお願い致します。

以上

ご注意

1. 本資料に記載された製品の仕様は、予告なく変更することがあります。
2. 本資料の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不明な点などがありましたら、弊社までお申しつけください。
3. 本資料に記載された情報に起因する損害または特許権その他権利の侵害に関しては、弊社は一切の責任を負いません。
4. 本資料によって第三者または弊社の特許権その他権利の実施権を許諾するものではありません。
5. 弊社の書面許諾なく、本資料の一部または全部を無断で複製することを固くお断りします。
6. 本資料に記載された製品をユーザ装置に組み込む際には、バックアップやフェイルセーフ機能を系統的に設置してください。
7. 弊社は、人命に関わる装置として特別に開発したものは用意しておりません。
8. 本資料に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright 2010 Myway Corporation

All rights reserved. No part of this manual may be photocopied or reproduced in any form or by any means without the written permission of Myway Corporation.